



ささえあう心と心

No.37

福祉だより

平成23年7月25日発行



東日本大震災 片付けボランティア

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

社会福祉法人 芳賀町社会福祉協議会

〒321-3304 芳賀町祖母井297-1 ☎028(677)4711 FAX(677)4732



この広報誌は、みなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使用されています。

東日本大震災への対応

県内でも震災被害の大きかった芳賀町。社会福祉協議会でも芳賀町と連携を図り、町内のみなさまへの支援活動を行ってきました。

ご協力いただいたみなさまに心より感謝いたします。



避難所への炊き出し

調理ボランティア 配達ボランティア
日赤奉仕団 のべ108人



芳賀町災害対策本部からの要請を受け、芳賀町ボランティア連絡協議会に登録している調理ボランティア、配達ボランティア、日赤奉仕団のみなさんに、町民会館避難所の被災者へ炊き出しを行いました。

3月15日から避難所閉鎖になる4月2日までの19日間、夕食としておにぎりや漬物、煮物など作り届けました。

家屋内外の片づけ

片付けボランティア
のべ94人



<協力いただいた方々>

有志、芳賀町ボランティア連絡協議会会員、小柳電設、真岡青年会議所、宇都宮市民活動サポートセンター

片付けボランティアのみなさんが、一人暮らしや二人暮らし高齢者や障害者の世帯の家屋内外の片づけ、がれきの撤去をしてくれました。3月26日から4月17日までの間、土日を中心に12日間で90件の片づけを行いました。

片付けボランティアは町内の有志の方にとどまらず、「仕事にならないから」と会社をあげてご協力くださった事業所や町外の団体からもご協力をいただきました。

片付けてもらった方は「高齢で重いものが持てず困っていましたが、若い方があっという間に片付けてくれて本当に助かりました」と話していました。

東日本大震災義援金

大震災直後から、被災地支援のために多くの義援金が寄せられています。

各方面の個人や団体などからの支援が、関係組織へ届くなか、芳賀町社会福祉協議会でお預かりした義援金は、7月10日現在で536,247円となりました。

| 寄付者・団体名(敬称略) | 金額(円) |
|------------------|---------|
| 塩田恵美子 | 10,000 |
| 大場 毅 | 10,000 |
| 荒井ケイ | 9,236 |
| 関口國男 | 3,000 |
| 綱川知子 | 10,000 |
| 黒須敏文 | 4,000 |
| 稲川さとみ ともみ けんじ | 5,000 |
| ZUNBAサークルMiGente | 10,500 |
| (株)吉野工業所宇都宮工場 | 320,446 |
| みずはし保育園保護者職員一同 | 38,273 |
| 芳賀町社会福祉協議会職員一同 | 34,840 |
| 栃木県歌謡協会芳賀支部 | 50,597 |
| 募金箱 | 30,355 |
| 合計 | 536,247 |

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社栃木県支部に送金いたしました。日本赤十字社からは、被災市町村を通じて、100%全額、被災された方々に届けられます。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

なお、東日本大震災義援金の募集期間は9月30日(金)までです。

◆義援金受付 芳賀町社会福祉協議会
(農業者トレーニングセンター内)

助け合い・ふれあいの社会に

芳賀町社会福祉協議会長 野澤重雄

3・11、これまでに経験したことがない大地震、大津波、原発の事故などと未曾有の大災害が発生しました。本町でも多大な被害がありました。被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、これまで復旧に向けて支援活動に携わっている方々には心より感謝申し上げます。

これまで築いてきたものが自然の猛威の前ではいかに頼りないか思い知らされましたが、一方で、怒りをあらわにしたり他人を罵り合うこともなく耐え忍び、災害に遭われた方同士が協力しあい助け合っています。さらに全国で救援支援・募金などのボランティア活動が活発に行われています。世界各地からもボランティアに来ていそうです。多くの助け合い・ふれあいの輪が広がっています。

これまで我々は、物質的な豊かさに向けて努力し、それを手に入れてきましたが、この震災によって、改めて豊かさとは何かを考えさせられました。

この助け合い・ふれあいの輪が芳賀町にも根付き、より一層広がっていくことを望んでいます。助け合い・ふれあいの輪が、芳賀町の一人ひとりが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりにつながっていると信じています。

平成23年度芳賀町社会福祉協議会事業計画

地域福祉のまちづくりの推進

① 地域住民への啓発

- ・ ふれあい運動会の開催
- ・ 広報誌の発行

② ボランティア活動の推進

- ・ 芳賀町ボランティア連絡協議会の強化

③ 相談所の運営

- ・ 心配ごと相談所の運営

④ 地域社会の把握

- ・ 日常生活自立支援事業（あすてらす）
- ・ 各種調査・民生委員との連携

高齢者や障害のある方の権利を守り、安心して自立した生活が続けられるように支援します。

地域福祉サービスの充実

① 高齢者への事業

- ・ 食事サービス
- ・ ひとりぐらし高齢者等招待
- ・ 手押し車購入助成
- ・ 歳末おせち料理の配布
- ・ 寝たきり高齢者見舞品

② 障害者への事業

- ・ 福祉車両の貸し出し
- ・ 障害者ホームヘルプ

③ 児童への事業

- ・ 学童保育の運営

町内の小学校1年～6年生を対象に下校後、保護者の就労や疾病などにより自宅での保育が難しい児童の健全育成を図ることを目的にしています。

- ・ あおぞらクラブ（芳賀南小）
- ・ なかよしクラブ（農トレ内）
- ・ おひさまクラブ（生涯学習センター内）

収支予算状況(計114,360千円)

法人運営収支予算状況

(単位：千円)



芳賀町社会福祉協議会は地域の一人ひとりを尊重し、住民のみなさまとともに地域福祉の推進を考え『安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり』を目指し、様々な事業を展開しています。

介護保険事業

- ① 居宅介護支援事業
- ② 訪問介護事業
- ③ 介護予防訪問介護事業

介護計画を立てるケアマネージャーや身体介護などを行うホームヘルパーの事業所にもなっています。

その他の事業

- ① 共同募金運動の実施
 - ・ 赤い羽根募金・歳末たすけあい募金
- ② 日本赤十字社へ活動支援

⑥ 一般住民への事業

- ・ 福祉用具の貸し出し
- ・ 歳末見舞金の贈呈
- ・ 当事者団体への支援
 - ・ 老人クラブ
 - ・ 身体障害者福祉会
 - ・ 手をつなぐ親の会
 - ・ 母子寡婦福祉会
 - ・ 学童保育保護者会
 - ・ 遺族会

介護保険や障害者の制度などに該当しない方へ車いすや介護用ベットを貸し出ししています。



④ 母子・父子家庭等への事業

- ・ レクリエーション事業
- ・ 卒業祝いの贈呈

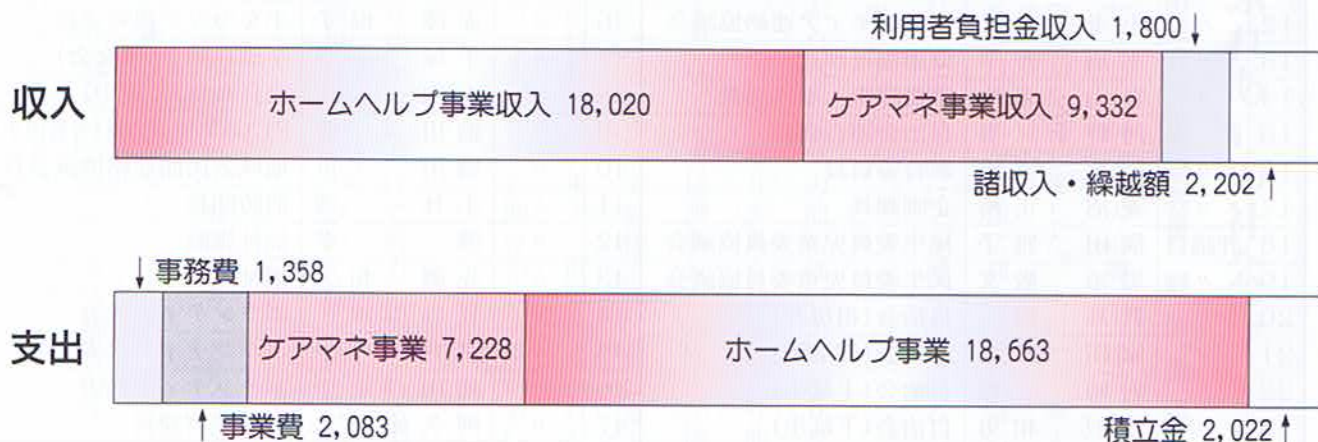
⑤ 福祉資金の貸付事業

- ・ 小口貸付（福祉金庫）
- ・ 生活福祉資金
- ・ 母子寡婦福祉資金

平成23年度芳賀町社会福祉協議会

介護保険収支予算状況

(単位：千円)



平成23年度 日赤社費募集結果

総額 1,937,000円

| 地区名 | 社員数(人) | 金額(円) | 地区名 | 社員数(人) | 金額(円) |
|------|--------|---------|-------|--------|-----------|
| 祖母井 | 734 | 367,000 | 八ツ木 | 158 | 79,000 |
| 稲毛田 | 342 | 171,000 | 上稲毛田 | 91 | 45,500 |
| 上延生 | 96 | 48,000 | 給部 | 49 | 24,500 |
| 下延生 | 146 | 73,000 | 東水沼 | 487 | 243,500 |
| 与能 | 163 | 81,500 | 西水沼 | 274 | 137,000 |
| 下高根沢 | 583 | 291,500 | 東高橋 | 256 | 128,000 |
| 芳志戸 | 226 | 113,000 | 西高橋 | 269 | 134,500 |
| 合計 | | | 3,874 | | 1,937,000 |

五月一日から一ヶ月間、日本赤十字社費増強運動が展開されました。皆様のご理解とご協力により次のように社費が集まりました。心より厚く御礼申し上げます。

理事会・評議員会通信

去る5月26日(木)に理事会、27日(金)に評議員会がそれぞれ開催され、下記の議題について審議され、認定ならびに承認されました。

- ・平成22年度事業報告の承認について
- ・平成22年度一般会計収支決算の承認について
- ・定款施行細則の一部改正について
- ・財産目録の承認について
- ・役員・評議員の一部変更同意について 等

芳賀町社会福祉協議会役員

任期/平成22年7月1日～平成24年6月30日
(平成23年7月1日現在)

| 番号 | 役職 | 氏名 | 選出区分 | 番号 | 役職 | 氏名 | 選出区分 |
|----|-----|--------|--------------|----|-----|--------|-----------------|
| 1 | 理事 | 野澤 重雄 | 学識経験者 | 25 | 評議員 | 菅又 俊 | 自治会(下高根沢) |
| 2 | 〃 | 荒井 佐一郎 | 学識経験者 | 26 | 〃 | 大谷 津隆昭 | 自治会(芳志戸) |
| 3 | 〃 | 水沼 重夫 | 保護司会長 | 27 | 〃 | 高松 和夫 | 自治会(八ツ木) |
| 4 | 〃 | 石川 保 | 議会教育民生委員長 | 28 | 〃 | 鈴木 秀幸 | 自治会(上給) |
| 5 | 〃 | 君島 良正 | 老人クラブ連合会長 | 29 | 〃 | 石下 光男 | 自治会(東水沼) |
| 6 | 〃 | 阿久津 克美 | 身体障害者福祉会長 | 30 | 〃 | 柳沢 三寿 | 自治会(西水沼) |
| 7 | 〃 | 黒崎 善兵衛 | ボランティア連絡協議会長 | 31 | 〃 | 手塚 貞男 | 自治会(東高橋) |
| 8 | 〃 | 塩田 利信 | 学識経験者 | 32 | 〃 | 高橋 一彦 | 自治会(西高橋) |
| 9 | 〃 | 戸室 四平 | 社会教育委員長 | 33 | 〃 | 上野 征一 | 心配ごと相談員 |
| 10 | 〃 | 長島 聡 | 教育会長(芳賀南小) | 34 | 〃 | 宮島 悦子 | 婦人会連絡協議会長 |
| 11 | 〃 | 井本 正司 | 民生委員児童委員協議会長 | 35 | 〃 | 岡田 和子 | 母子寡婦福祉会長 |
| 12 | 〃 | 小玉 一七子 | ボランティア連絡協議会 | 36 | 〃 | 赤澤 悦子 | 手をつなぐ親の会長 |
| 13 | 〃 | 水沼 秀幸 | 健康福祉課長 | 37 | 〃 | 手塚 ミツ | 学識経験者(更女会) |
| 14 | 〃 | 青山 完治 | 常務理事・事務局長 | 38 | 〃 | 古内 正 | 校長会長(芳賀中) |
| 15 | 監事 | 河野 十三男 | 自治会連合会長 | 39 | 〃 | 綱川 聡 | PTA連絡協議会長(芳賀南小) |
| 16 | 〃 | 阿部 憲治 | 教育委員長 | 40 | 〃 | 綱川 文世 | 地域公民館連絡協議会長 |
| 17 | 〃 | 菱沼 正裕 | 企画課長 | 41 | 〃 | 小林 透 | 消防団長 |
| 18 | 評議員 | 横田 雅子 | 民生委員児童委員協議会 | 42 | 〃 | 磯 孝 | 福祉施設 |
| 19 | 〃 | 黒須 敏文 | 民生委員児童委員協議会 | 43 | 〃 | 先灘 和文 | 福祉施設 |
| 20 | 〃 | 君島 俊一 | 自治会(祖母井) | 44 | 〃 | 長谷川 湊子 | ボランティア代表 |
| 21 | 〃 | 原田 幹也 | 自治会(稲毛田) | 45 | 〃 | 直井 玲子 | ボランティア代表 |
| 22 | 〃 | 岩崎 豊 | 自治会(上延生) | 46 | 〃 | 稲川 京子 | ボランティア代表 |
| 23 | 〃 | 赤沢 和男 | 自治会(下延生) | 47 | 〃 | 阿久津 英之 | 生涯学習課長 |
| 24 | 〃 | 大根田 昭義 | 自治会(与能) | | | | |

善意をありがとう

梨の実基金

現在高 **135,674,780円** (平成22年度末)

募金額累計では **155,803,089円**

| 寄付者名 | 金額(円) |
|-----------|-----------|
| 奈奈美音楽事務所 | 50,000 |
| 匿名 | 10,000 |
| 丸山芳江 | 10,000 |
| 岡野重雄 | 100,000 |
| ミヤ健康クリニック | 12,000 |
| 小池昭雄 | 2,000 |
| 大谷津 茂 | 5,000 |
| 七井暁美 | 30,000 |
| 匿名 | 50,000 |
| 大関武彦 | 100,000 |
| むつみ会 | 10,211 |
| 斉藤 崇 | 50,000 |
| 押久保光雄 | 200,000 |
| 小林浩行 | 200,000 |
| 石川商店 | 24,120 |
| 田野辺充男 | 1,000,000 |

| 寄付者名 | 物品名 |
|-------|----------|
| 関口 満 | 介護用ベット1台 |
| 匿名 | 車いす1台 |
| 菱沼容子 | お米30kg |
| 黒崎フサ子 | お米15kg |

(平成23年3月1日～平成23年6月30日現在、敬称略、順不同)

みなさまからお寄せいただいた「梨の実基金」は、これまでの累計で1億5,500万円を突破しました。多くの方々の善意に心から感謝申し上げます。



田野辺氏 100万円寄付

田野辺充男氏は、公
共に対し顕著な功績を
挙げたとして、このた
び「旭日中綬章」を受
賞しました。
これを記念して、梨
の実基金に100万円
を寄贈されました。

梨の実今昔

「梨の実基金」は、昭和45年に社会福祉協議会が法人化した折、初代会長の酒井良清氏らによってその元が作られました。その後「梨の実基金」という愛称が用いられ、多くのみなさまの善意が積み上げられてきました。

2代目会長の田野辺充男氏は、その造成に尽力され、人生の節目や記念にと町民に寄付を呼びかけ、積立目標額である1億円を達成し、基金の活用を始めました。活用するにあたっては運営委員会(理事会)で活用方法を協議し、評議員会の承認を得ています。

これまでに基金の中から20,128千円を活用してきました。最近では、災害関連に活用させていただいています。

近年、厳しい経済・社会情勢を反映してか寄付の件数は下降気味でしたが、東日本大震災以降、助け合いのころから義援金や寄付金が届けられています。



平成23年度
社会福祉協議会

「会員・会費」への ご協力をお願いします。

芳賀町社会福祉協議会（通称：社協）では、住民のみなさまとともに地域福祉の増進を考え、『安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり』を目指し、様々な事業を展開しています。

社協会員って誰のこと？

社会福祉に関心を持ち、社協活動を支えて下さる住民・団体の方々です。

会費の使いみちは？

皆さまから寄せられた会費は、地域福祉の推進事業としてひとり暮らし高齢者等を対象とした食事サービスや高齢者招待事業などの活動費に、大切にに使わせていただいています。（詳細は、4～5Pをご覧ください）

会員の種類は？

- ・普通会員（1口）1,000円：芳賀町在住の一般世帯
 - ・賛助会員（1口）3,000円：個人、企業、団体などで趣旨に賛同下さるの方々
- *各種委員にお願いしていた特別会員はなくなりました。

募集期間や募集方法は？

期 間 8月1日(月)～8月31日(水)

納入場所 芳賀町社会福祉協議会事務所（農業者トレーニングセンター内）

納入方法 普通会員…取りまとめは行政連絡員さんをお願いしています。

賛助会員…直接事務所にて承けたまわるほか振込にてもお受けいたします。

本会の主旨をご理解いただき、積極的なご加入とご協力をお願いします。

心配ごと相談所

●ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。 ☆秘密厳守 ☆料金は無料

相談日 毎週火曜日13:30～16:00（祝日・第5週はお休みいたします）
第3週は、行政相談・人権相談も行っています。

相談場所 農業者トレーニングセンター 相談室

（開所日）

| | |
|-------------------|------------------|
| 8月2日・9日・16日・23日 | 9月6日・13日・20日・27日 |
| 10月4日・11日・18日・25日 | 11月1日・8日・15日・22日 |
| 12月6日・13日・20日・27日 | 1月10日・17日・24日 |